

谷川岳 '89.3.26 快晴

メンバー L.菅沼, 高野, 柴崎, 手塚, 梅原, 荻原

別働 P.西川, 岡坂 以上8名

前日の終電車で木上にてSet.ヒバーク。夜行が無いというのは何と不便な事か。

朝6時出発の予定が、タクシーがダメで、それでも何とか6:30にお願いできいざ出発。ローフウエーは思ったより空いていた。山スキーヤーもいるようだ。

天神平はたっぷり雪がありひと安心。昨日の新雪がサラサラだ。ここで天神リフトの様子見て1時間程時間調整をする。気の早いというより正しい姿勢の登山者、山スキーヤーは、シールでどんどん登っていく。この調整には理由があって、別働の2人との時間差を縮めることもあった。(急の意)

天神峠リフトは一向に動きそうもないので、業をこやし我々もシールで出発する。何のことはない、田尻沢の頭まで20分位のもんだった。田尻沢の頭を越えたコルからは、菅沼以外は、うぼ足で登ることになった。山ではガマンが大切、もう少しガマンしてシールで登って欲しい。例の少しのギャツポの祈で先行パーティーがもたっていた。見ると恐くなってしまふ。スキーを投げたりしながら何とか下る。

避難小屋からは傾斜が少しキツくなるが、今日の雪からシールの適ではない。うぼ足パーティーが大勢いるのでうぼ足でも楽そう。ザンゲ岩の上の祈で追い着きそうになったが、休んでしまった為一度も先頭へ出ることは無かった。もう頂上はすぐである。テレマーカーが快調に追い抜いていく。

先頭が肩の広場へ消える頃、やっと重い腰を上げる。早い人は滑って来る。なかまが見事に西黒沢潭頭の大斜面にシユポールを描いている。シユカフラだらけの肩の広場へ登れば、すぐトマの耳だ。晴天の山はどこまでも気持ちが良いものだ。

今日はオキの耳方面へ行く人はいないようだ。ただ、オジカの頭方面には2人程の人影が見える。高野さんと大分差ができてしまい、少し長く休むことになった。谷川岳3,000回目標のオツチャンは今日も元気だ。今年中に1,000回だろう。立派としか言えない。

11時少し過ぎに出発する。何パーティーか先行がいたのにすぐに2番手になってしまった。滑り出してすぐ西川、岡坂の両氏に出会う。朝東京を出てこの早さ、信じ難い。頂上を往復してくるとのことですぐに別れる。

西黒沢源頭大斜面も快適に滑れたのはホンの一寸。あとはジワリ、ジワリと悪雪になってくる。まあ何とか曲れる位だから良しとしなければならぬ。避難小屋の上で大休止となった。見ていても、さすがあの両名は滑ってこない。テレマーカー状、さんざん苦勞して下って来た。天神平へ帰るらしい。

ここから西黒沢へ滑り込む訳だが、急斜面なのと昨日の新雪のこともあって、新人会員にもろもろの注意を与えて、いざ滑降となった。ほんの少しは快適な深雪だったがすぐに悪雪になってしまふ。途中ルートをとってしまい、西黒沢で少し待つハメになってしまい、例年よりヒヤ汗ものだろう。

今年、西黒沢はデブリが少なく、快調だった。前回と比べても雪質も斜面も上々だ。ただ今年は本当に雪が少なく、途中2ヶ所も水流が出ていた。しかし、ルートファインディングに苦勞することもなく、田尻沢へ出、ロープウェイまで快適に滑ることができた。

あの二人に何と谷川岳の頂上から休みなしで、スッ倦んで滑って来たらしく、我々のすぐ後を滑って、最後には追いついてしまった。今日は半月の軽い足慣らしで終わってしまった。

タイム：天神平 8:00 → 避難小屋 9:00 → 岩上 10:00/20 → 頂上 10:40/11:05
避難小屋 11:20/35 → ロープウェイ-駅 12:30